



## 「慈しみの心」が教育の原点

校長 鹿倉朋宏

草木が芽吹く弥生3月となりました。「春は名のみの 風の寒さや」と歌われていますが、風は冷たいながらも日差しは明るく春の暖かさを感じます。

今年度も最後の月となりました。3月は子どもたちにとって、温かな雰囲気包まれた特別な月となります。クラスの仲間や先生との関係も深まり、大変のびのびと活動しています。特に、卒業生は「最後の授業」とも言われている卒業証書授与式に向けて、毎日準備や練習を重ねる中で、時の移り変わりというものを自分なりに感じとりながら、新たな希望を胸に巣立っていきます。

日々の授業や行事を通じて、子どもたちの新たな一面に気づいたり、心のふれあいをしたり、成長していく姿などを観たりすることが何よりも楽しみです。目の前の子どもたちを真摯に受け止めて教育に取り組んでいる本校職員からも多くのことを学ぶと同時に、今後の学校経営の方向性についていろいろ思いを巡らすことも楽しいです（まとまらないことが多いですが…）。

1年間の学習を振り返って「がんばったこと」や「できるようになったこと」を振り返り、努力した過程や成長の度合いを確かめ合うことが子どものキャリア発達の礎となります。わずかでもできるようになったことやがんばったことについて、ほめるより前にまず「共に喜ぶ」ことが大切です。子どもは大人の感情にとっても敏感です。感情は、眼差しや口調となって現れます。教育における愛情とは「慈しみ」の心であると思います。いろいろな特性を持った子どもたちですが、一人一人が毎日精一杯生きています。たとえ教師の目から見て課題が多かろうと子ども本人にとっては現時点では精一杯なのです。そのことを心から実感すると「慈しみ」の心と「温かい眼差し」が生まれ、子どもは安心して信頼し、指導にもついてきます。私自身もそのことを常に心に留めながら子どもたちと接するように努めております。

3月15日には本校高等部3年生41名の生徒が卒業証書を手社会へ羽ばたいていきます。12年間の学校生活での学びを終え、社会人1年生として新たなスタートです。信頼される社会人としてさらに成長していくことを祈っています。また、3月18日には小学部6年生10名、中学部3年20名の児童生徒が卒業を迎えます。今まで身につけた力を中学部、高等部でさらに伸ばしていきましょう。

保護者並びに地域・関係機関の皆様、本校の教育活動充実のために今年度も様々なご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。今後もよろしくお願い申し上げます。



### 【平成28年度4月当初の予定】

8日(金)	始業式	11:30下校	18日(月)	保護者会(小学部)
11日(月)	入学式	11:30下校	19日(火)	保護者会(中学部)
12日(火)	短縮日課	11:30下校	20日(水)	保護者会(高等部)
13日(水)	短縮日課	11:30下校	25日(月)	家庭訪問(～5月2日)
14日(木)	平常日課	給食開始 15:00下校	28日(木)	PTA新旧理事会